

令和6年度 第6回豊田市藤岡南地域会議 議事録

開催日時	令和6年10月29日（火）	開会	閉会
		18時55分	20時25分
会 場	藤岡南交流館 多目的ホール		
出席者	委 員 15名出席（欠席者：細井委員）		
	藤岡支所 山田支所長、市川副主幹、成瀬担当長、中村 山田市議、武田市議		
次 第	1 「豊田市民の誓い」 唱和 2 開会 藤岡南地域会議会長あいさつ 3 議事 （1）地域の実態について 4 報告 （1）委員からの報告（各団体の活動など） 5 事務連絡 （1）地域課題解決事業「ふじの回廊周辺活性化事業」 ふじの回廊に関するアンケートの協力について		

■議事（要約）

3 議事

（1）地域の実態について

藤岡南地区まちづくりビジョン（以下、「まちづくりビジョン」という。）を用いて、地域の検証・評価を行うため、10月～12月の期間は、地域の実態把握を行う。グループ検討では、まちづくりビジョンの自己評価を基に、優先的に検証を進めていく「取組項目」の選定や地域の現状を知るためのヒアリング先について意見交換を行った。意見交換後には、お互いの検討内容を発表し、情報を共有した。

【グループの検討内容】

グループ	基本方針	取組項目
A	1 安心・安全なまち	（1）防災 （2）防犯 （3）交通環境
	3 自然や地域を活かした魅力あるまち	（1）環境美化
B	2 生涯生き活きと人が輝くまち	（1）健康づくり （2）人づくり （3）絆づくり
	3 自然や地域を活かした魅力あるまち	（2）地域の魅力向上

【グループの担当委員】

グループ	委員名
A	岩崎副会長、加藤委員、金井田委員、小林委員、千葉委員、廣瀬委員、細井委員、村端委員
B	鈴木（淑）会長、小谷委員、重松委員、鈴木（直）委員、田中委員、中島（文）委員、中島（理）委員、和田委員

【主な意見】

全体

- ・地域の実態把握をするため、藤岡南地区の取組をホームページで調べてみた。情報が探しづらく、藤岡南地区の情報がまとまったサイトがあれば、活動が理解しやすいと感じた。
- ・まちづくりビジョンの取組を推進するため、グループチャットがあれば、藤岡南地区コミュニティ会議と藤岡南地域会議が繋がる。
- ・まちづくりビジョンを作成した平成24年頃とは、各地域の環境が異なってきた。地域の生の声が知りたい。

A グループ

- ・管轄する基本方針の取組項目の詳細について、自己評価の結果を共有した。

グループ委員の半数が『できている』と評価

「防災」：自主防災会の活動支援

「防犯」：自主防犯会の活動支援、自己防衛意識の啓発

「環境美化」：定期清掃や環境パトロールの実施、住生活マナー向上の啓発

グループ委員の半数が『できていない』と評価

「交通環境」：通学路安全実態調査と検討、地域道路の安全確認、支障木伐採

- ・「防災」は、安否確認、避難所運営訓練に取り組んでいる。規則を守る部分と自立、自主的な行動もできるようになるとよい。
 - ・「交通環境」は、新しい道は抜け道として使用され危険なため、ルールやマナーが守れるとよい。
 - ・「防災」は地域で取り組むことができるが、「防犯」は個々の取組となる。まちづくりビジョンなので、まずは地域と“共働”で取り組めるとよい。
- « 優先的に検証を進めていく取組項目»
- ・「防災」。「防災ネットワーク整備」は今、「防災SAKURAが咲くまちづくり事業」で取り組んでいる。防災部会にヒアリングを行い、防災対策が地域で全体に浸透するとよい。

B グループ

- ・管轄する基本方針の取組項目の詳細について、自己評価の結果を共有した。

グループ委員の半数が『できている』と評価

「健康づくり」：老人クラブの活動支援

「人づくり」：あいさつ・声かけ運動、交流の場や生涯学習の場づくり

- ・「健康づくり」は、地域医療の充実、生活弱者の支援体制の整備、ソーシャルビジネスの促進・支援について、今後勉強していく。
 - ・「人づくり」は、わくわく事業は継承者がいない課題がある。自治区は役員等の育て方を検討する。子どもと大人、高齢者を含めた活動が必要。
- « 優先的に検証を進めていく取組項目»
- ・「人づくり」、「絆づくり」は関連がある。交流機能の拡充と利便性向上、世代間の子育てサポートの充実を中心に検討していく。

4 報 告

(1) 委員からの報告（各団体の活動など）

委員からの報告はなかった。

【今後の開催予定】第7回地域会議（11月26日（火）午後7時から藤岡南交流館 多目的ホール）